

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (13-12)

団体名	特定非営利活動法人 ハッピーキッズひがし	代表者名	(職名) (氏名) 代表理事 九鬼 由佳
事業名	『親子で楽しく体験活動』『長期休み・児童居場所作り&健全育成』支援事業		

< 事業実施実績 >

年月日 定例は「月1回」「毎○曜日」等で記入	場所	参加者 一般(ｽｯ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
2023年7月 25日	ひがし交流センター	4+0 (2)	夏休み幼稚園・小学生プログラム 折り紙教室『朝顔・ひまわり・夏の虫など』 / 九鬼由佳
7月31日	ひがし交流センター	15+0 (3)	料理教室『たこ焼き&ゼリー』 / 調理師 宮中真智子 氏
8月 1日	ひがし交流センター	5+0 (2)	(手作り) ボーリングで遊ぼう / 九鬼由佳
8月 2日	ひがし交流センター	4+0 (2)	工作教室・ワイヤークラフト『タオルアイスキャンデー』 / 講師 荒木真由美 氏
8月 4日	ひがし交流センター	7+0 (2)	工作教室『ランプシェードを作ろう』 / 武本弘子
8月 7日	ひがし交流センター	6+0 (2)	工作教室・クラフト工作『小物入れ』 / 講師 假屋和子 氏
8月 8日	ひがし交流センター	6+0 (3)	読書感想文・生活作文を書こう(1回目) / 九鬼由佳
8月10日	ひがし交流センター	7+0 (3)	読書感想文・生活作文を書こう(2回目) / 九鬼由佳
8月17日	ひがし交流センター	6+0 (3)	読書感想文・生活作文を書こう(3回目) / 九鬼由佳
8月22日	ひがし交流センター	5+0 (2)	紙飛行機大会 / 九鬼由佳
8月24日	ひがし交流センター	7+0 (4)	料理教室『ホットプレートでパンを焼こう』 / 講師 假屋和子 氏
8月28日	ひがし交流センター	11+10 (7)	夏祭りデー (スーパーボールすくい、魚釣り、ボール投げなど、自分たちでゲームの準備をして、店番も交代でして、遊ぶ)
10月22日	ひがし交流センター	8+38 (13)	➤ ふれあいスポーツデー・親子で身体を動かそう! ・体操指導 親子リズム体操講師 福永摩耶 氏

11月24日	ひがし交流センター	19+29 (8)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 人形劇とふれあい遊び ・パネルシアター『ころころパンケーキ』 城北子ども文庫 ・わらべ歌&ふれあい遊び他 ・食育指導(綿菓子) 武本弘子
12月8日	ひがし交流センター	17+45 (12)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ クリスマス会&ふれあいコンサート ・ハンドベル演奏: 東光児童センターハンドベルクラブ ・マンドリン演奏: 吉川 千恵 氏 ・サンタクロース: 元 民生委員児童委員 田谷宇三文 氏 ・楽器遊び ・キャンドルサービスなど ・食育指導(ホットケーキ) 調理師 宮中真智子 氏 ・子育て相談 主任児童委員 荒木真由美 氏
2月2日	ひがし交流センター	4+37 (8)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 節分豆まき&ふれあいコンサート ・節分・豆まきの由来等お話 元民生委員児童委員 田中慶子 氏 ・豆まき指導 元民生委員児童委員 田谷宇三文 氏 ・音楽とふれあい遊び 『ほのぼのさん』 ・食育指導(きな粉飴) 調理師 宮中真智子 氏 ・子育て相談 主任児童委員 荒木真由美 氏

< 効果と成果 >

- ・幼稚園・小学生プログラムでは、工作から料理、作文(読書感想文)などいろいろな活動に取り組んだ。講座そのものの体験もさることながら、講座以外の時間には、学年も学校も違う子どもたちが入り混じって、大型ブロックやレゴ、折り紙、卓球、水遊びなど、電子機器以外のもので遊べた。
- ・夏祭りデーでは、準備から子どもたちで考えて用意し、お店番を交代しながら、遊んだ。小さい子がお客さんの時には、やさしくお手伝いが出来た。
- ・親子参加行事は、自園の親子だけでなく、すこやかセンターや児童センターを利用している親子さんにも参加していただいた。節分の話などは、親御さんにも知っていただく良い機会になった。
- ・スポーツや人形劇やふれあい遊び、ふれあいコンサートなど、親子で本物にふれ、また、親子でふれあい、親子で楽しみを共有していただいた。
- ・食育では、自分でおだんごを丸めるなど、去年までできなかった体験もできた。

< 今後の展望 >

- ・すこやかセンターや児童センターを利用している親子さんは、どちらかといえば活動的なので、他の場所でのいろいろな行事にも参加されているようである。どこにも行けずに、孤独な子育てをしている人にどうやって、情報を届け、参加を促すことができるかが大きな課題である。
- ・小学生にしても、今回のプログラムに参加している子は、親も家庭学習・教育に関心がある方が多いように思う。こうした講座に参加せず、家でも十分に学習が出来ていない子どもたちの基礎学力をつけるようなことをする必要があると思う。学校との連携、人手の確保などが必要であるが、大変難しい問題である。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	404,000
自己資金	17,201
参加費	29,680
合計	450,881

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経費	謝金	130,000	130,000
	スタッフ人件費	125,808	110,000
	使用料	34,800	34,000
	その他 (活動資材費等)	71,226	42,000
	小 計	361,834	316,000
	間接経費 (一般管理費)	89,047	88,000
	合 計	450,881	404,000